



国際リニアコライダー計画と 日本の役割

(第54回 アイソトープ・放射線研究発表会内「パネル討論」1)

国際リニアコライダー(ILC)計画は、世界各国による国際共同チームを中心に研究が進められ、日本は素粒子物理学と加速器技術の実績を活かし、ILCの建設誘致を目指しています。今回は、ILC計画が日本および世界にもたらす効果、そのために日本が果たすべき役割について、各専門分野からの講演と討論を行います。ぜひご参加ください。

日時

2017年 7月 5日 (水)
14:15~16:45

会場

東京大学弥生講堂
一条ホール (東京都文京区弥生1-1-1)

参加無料

詳細はコチラからも
ご覧頂けます



お問合せ

日本アイソトープ協会学術課内
アイソトープ・放射線研究発表会事務局
gakujutsu@jrias.or.jp

第I部 講演

ILC 計画とその科学的意義

講師: 相原 博昭 氏(東京大学)

ILC 加速器の概要

講師: 佐伯 学行 氏(KEK)

ILC 測定器概要

講師: 竹下 徹 氏(信州大学)

第II部 パネルディスカッション

パネリスト:

鷲尾 方一 氏(早稲田大学)、
上記講師3名

座長:

高橋 徹 氏(広島大学)